



6年ぶりの演劇鑑賞！ ～わらび座公演『ミュージカル 松浦武四郎』～



昨年度より延期になっていた念願の芸術鑑賞が、12月17日(金)に本校体育館で実現しました。実に6年ぶりの演劇鑑賞会です。6年ぶりの今回は「劇団わらび座」による、『ミュージカル 松浦武四郎』を鑑賞しました。松浦はアイヌの人々と知り合い、その精神の気高さに心を打たれ、調査探検とともに彼らの生きる環境を守ろうと命をはって努力をした人物です。わらび座の迫真の演技に引き込まれ、感動の90分を味わうことができました。同時にこの物語から、

心を開きコミュニケーションをとることの大切さ、他人の価値観を理解し尊重することの大切さ、人間のすばらしさと醜さなどを感じ、現在の自分はどうかを問う機会になったと思います。

地元のしらかばで、工芸に挑戦！ ～「地域I」体験講座～

12月15日(水)の2年「地域I」授業では、信州白樺クラフト製作所の渡部ゆかりさんはじめ、スタッフの皆様にお越しいただき、シラカバの樹皮を使ったクラフト制作に挑戦しました。地域コース生徒は型紙を使い、思い思いのデザインで樹皮を切り取り、お好みのキーホルダーを制作しました。私も挑戦しましたが、生徒の方がはるかに上手に仕上げていました。

蓼科山のふもと標高約1500m地帯に広がる美しい白樺林。そこに着目しクラフト制作という新しい可能性を拓いた渡部さん達は、制作を通じみんなの関心を高め、その豊かな自然環境を守り未来につなげる活動にも取り組んでいます。ご指導本当にありがとうございました。



困ったお話(その54) (あっ、こ、これは!?)

以前(その37)でも書いたが、土日に立科町から自宅のある小川村を往復している私は、千曲川沿いのルートを使わず、もっぱら県道12号線(丸子・信州新線)という知る人ぞ知る山峡の道を利用している。なぜかという、必ず新しい発見が私を待っている魅惑のルートだからだ。趣味と実益を兼ねたここ1ヵ月の発見を2つ紹介しよう。

1 ヒラタケの大群落を発見！

青木村の修那羅峠から支線に少し入ったところで、生涯最大級のヒラタケの群落に遭遇。帰途途中に、私を惹きつける湿地を発見。注意深く歩くとミズナラの倒木にびっしり。小躍りしながら採取。この時期のは特に美味しいのでキノコ汁にしてみんなにご馳走。



一枚一枚が手のひらサイズ！



完成したら参拝に行こう

2 謎の大仏発見！

信州新町から小川村に向かう峠道で発見。山の中に突如として現れる姿は圧巻。まだ頭部と手だけだが、横の軽トラと比べると巨大さがわかる。誰が何の目的で作っているのか、恐れ多くて訊けず困っている。